

こっこめ通信 02 2023

「ハ丈島の節分」号



ハ丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて
「こっこめ」とよびます。

暦の上では春を迎える2月。とはいえ、花々が咲き乱れるような春はまだ少し先のようです。それでも植物たちは花を咲かせる準備に取り掛かっています。そんな中でも、シチトウスミレやアツバスミレ、シマテンナンショウなどは春を待ちきれずに咲き始めています。オオシマザクラも2月下旬には咲き始めるのでしょうか。

さて、今回は「早春の花々とハ丈島の節分」のお話です。『鬼は外、鬼は外～！福は内、福は内～！』

植物公園の早春の花々

節分を迎えると、暦の上では「春」ということになります。私はこの頃になると、早春賦^{そうしゅんぷ}の歌詞が頭の中をぐるぐる回り出します。本土より暖かいハ丈島は、ウグイスは歌詞のようにまだまだ寒いので鳴くのはやめておこうとは思わないようで、1月中旬には初鳴きを記録しています。

植物たちも、着実に季節を進めているようです。そこで、植物公園の早春の花々をご紹介します。(M.K.)



シマテンナンショウ



ウラシマソウ



オオシマカンスゲ



コハコベ



シチトウスミレ



アツバスミレ



タネツケバナ



ハナイバナ



キラソウ



トキワハゼ



ヒサカキ



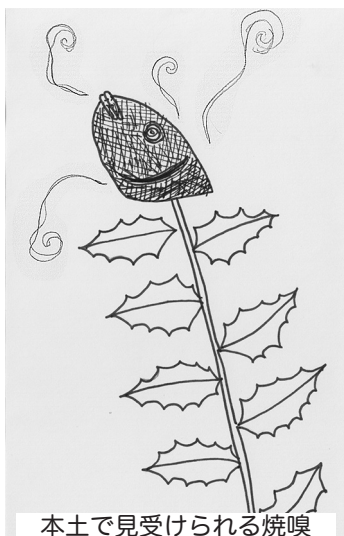
モチノキ

「アカコッコ」は日本固有のヒタキ科（旧ツグミ科）の鳥で、国の天然記念物に指定されています。
ハ丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

フンクサ、フンクサ、カマッテソウロウ

節分の夜に魔除けのため、鰯の頭など鬼が嫌う臭気の強いものを焼いて柵の枝や串に刺して家の入り口などに刺しておくものを「焼嗅（やいかがし）」と言います。地方によっては、やっかがし、やいくさし、やきさしなどとも呼ばれているようです。

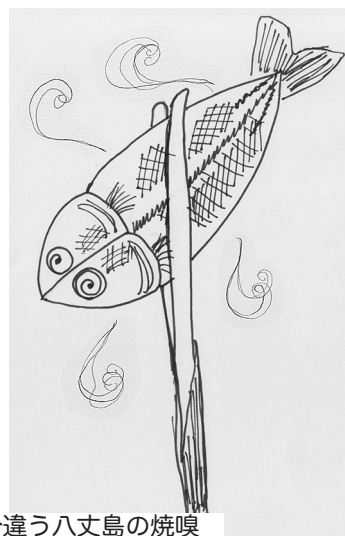
さてこの焼嗅ですが、本土で一般的に知られているのは柵の枝に焼いた鰯の頭を刺したのですが、島では鰯は獲れないし、柵も手に入りにくかったので、家の周りに生えている竹類の先を二つに割って（12に割る家庭もあった）、ササヨ（イスズミ・ノトイスズミ・テンジクイサキなど）の切り身やクサヤを挟んで使いました。クサヤは言わずもがな、強烈な臭気を放っていますね。ササヨもとても臭い魚です。なんせ、鬼が嫌うほどの臭気ですから。（クサヤもそうですが、このササヨも好きな人にはたまらない香りようです。）



本土で見受けられる焼嗅



本土のものとは随分違う八丈島の焼嗅



昔の焼嗅の様子（八丈島誌より）

本土ではあらかじめ焼いた鰯の頭を使いますが、八丈島ではふん嗅（クサ）の呪法を行いながら魚を炙り、それから豆をまき、焼嗅は玄関の戸の上に吊るします。ふん嗅の呪法の祝詞はこんな感じです。

「ふーん嗅 ふーん嗅 かまって候 かまって候 芋千俵の息とかまって候 甘藷千俵の息とかまって候 米千俵の息とかまって候 八丈絹千箱の息とかまって候 かまって候（この後、大学に合格する息とかまって候や給料が上がる息とかまって候などその年に叶えてもらいたい願い事を次々と唱えていく）」言い終わり、豆をまきながら「福は内 福は内 鬼は外 鬼は外」と叫ぶ。その時、鬼は外と言うたびに足をドンと床に打ち付け鬼を追い出す家庭もあります。

☆スタッフ M さんに聞いた！ふん嗅の思い出

今から〇〇年前のある日、実家の前を掃き掃除をしていた時のこと。1台の車が止まり、「なんだ、ここはMの家だったのか？」と知り合いが声をかけてきたそうです。続けて「山から良い気が流れてきているのに、海から悪い気が上がってきて良い気を打ち消して、ずっと前からこの家の前を通ると寒気がしていた。」と言うではありませんか！そして、悪い気が入ってこないように、玄関口にあった植物の一枝を玄関の方に来るように仕立ててくれたそうです。また、こうも続けました。「今度の節分に豆まき（焼嗅）をしてあげるよ。」と。

ひょんなことから豆まきをしてもらうことになったMさん。呪法が終わった後、「豆まきで使った焼嗅（竹の先にササヨを挟んだもの）は、節分が過ぎて最初に雷が鳴るまで玄関に吊るしておくように！」と言われたそうです。「雷が鳴ったら外して海側にぶっちゃん（捨てる）ように！」とも。

そうはいっても、そうそう都合よくすぐに雷が鳴ることなんてあるのかな？雷が鳴るまでに腐っちゃったらどうしようと思ったそうですが、なんと節分から間もなく本当に雷が鳴ったそうです。もちろん、ササヨの焼嗅も海側にぶっちゃん（捨てた）そうです。

さてさてこの呪法、単なる迷信か？信じるかどうかはあなた次第ということですが、私はそんなこともこの島にはあってもいいのかなと思います。（M.K.）

八丈植物公園季節調査会の報告

今月の「八丈植物公園季節調査会」は公園の西側を巡る A コースの 4 回目です。1 月は 3 名の参加者と調査を行っています。地面にはスダジイから落ちた沢山の虫こぶ(スダジイタマバエの虫えい・スダジイハナエダフクレフシ) や木の実が落ちていて、木々は新芽や花芽が芽吹き始めていました。

植物公園季節調査 (2022 年度 10 回) 1 月 8 日実施 A コース 調査者: 青木、青木、茂手木、VC 木下、VC 沖山

①徳里山麓			28	シチトウスミレ	花	63	ヤツデ	花・実
1	ハゼノキ	実	29	シマクサギ	実	64	ヤブツバキ	花
2	ツルグミ	花	30	シマテンナンショウ	花	65	ヤブニッケイ	実
3	トベラ	実	31	シマナガバヤブマオ	実			
4	モチノキ 雌木	実	32	スイカズラ	花	シダ植物		
5	シマモクセイ 雌木	実	33	ススキ sp	実	1	アマクサシダ	
②ブーゲン広場			34	スズメノカタビラ	花	2	ウチワゴケ	
6	オオシマザクラ	花芽	35	スダジイ	虫こぶ	3	オオイタチシダ	
③旧花木園			36	センニンソウ	実	4	オオタニワタリ	
④バードサンクチュアリ			37	タイミンタチバナ	蕾	5	オニヤブソテツ	
⑤南エントランス			38	タネツケバナ	花・実	6	カニクサ	
7	サクノキ	葉	39	チヂミザサ	実	7	シチトウハナワラビ	
8	カラスザンショウ	実	40	ツルソバ	花・実	8	タチクラマゴケ	紅葉
⑥徳里山			41	ツワブキ	花・実	9	タチシノブ	
⑦林間広場			42	テイカカズラ	実	10	タマシダ	
9	シマクサギ	実	43	ナガエノコミカンソウ	実	11	トラノオシダ	
⑧メインエントランス			44	ナキリスゲ	実	12	ナチシケシダ	
10	アオキ	実	45	ノジスミレ sp	花	13	ノキシノブ	
11	アオノクマタケラン	実	46	ハキダメギク	花	14	ハチジョウカナワラビ	
12	アキノノゲシ	花	47	ハチジョウアザミ	実	15	ハチジョウシダ	
13	アシタバ	花・実	48	ハチジョウキブシ	花芽	16	ハチジョウベニシダ	
14	アツバスミレ	花	49	ハナイバナ	花	17	ハマハナヤスリ	
15	イヌビワ	実	50	ヒガンバナ	葉	18	ヒトツバ	
16	イワニガナ	花	51	ヒサカキ	蕾	19	ヘラシダ	
17	ウスベニニガナ	花	52	ヒナギキョウ	花	20	ホシダ	
18	ウリクサ	花	53	ヒメクグ	実	21	ホラシノブ	
19	エダウチチヂミザサ	花	54	ヒメムカシヨモギ	花	22	マツバラン	孢子囊
20	オオアリドオシ	実	55	ヒメユズリハ	実	23	マメツタ	
21	オオバコ	実	56	フウトウカズラ	実	24	ミゾシダ	
22	オオバヤシャブシ	実・花芽	57	ヘクソカズラ	実	25	ヤマイタチシダ	
23	オニタビラコ	花	58	ホソバメヒシバ	実	今回はシダ植物 25 種を含む 90 種の植物を観察しました。暖かい陽気だったせいか、鳥の鳴き声が賑やかで、アオサギも確認できました。		
24	ガクアジサイ	実	59	ホルトノキ	実			
25	カタバミ	実・花	60	マサキ	実			
26	コハコベ	花	61	ムラサキカタバミ	花			
27	コミカンソウ	実	62	メヒシバ	実			

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、節分でも使われる「イスズミ」にスポットを当ててみたいと思います。



イスズミ

Kyphosus vaigiensis

スズキ目イスズミ科イスズミ属。本州中部以南からインド・西太平洋などに生息し、八丈島でも浅海の岩礁域で普通に見られます。

背鰭軟条が 14 本、臀鰭軟条が 13 本と多いことで他の種と見分けられます。夏場は底生動物を食べ独特の臭いですが、冬場は褐藻類を食べ臭いも少し落ち着きます。島ではイスズミを「ササギ」、テンジクイサキを「オバビロ」、ノトイスズミを「ササヨ」と呼ぶ？

2023 2

八丈ビジターセンター プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島(神湊)の潮の満ち引きの時刻です。
また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
この色の日は ガイドウォークや 特別行事があります			1	2	節分3	立春4 ガイドウォーク
5 ガイドウォーク	6	7	8	9	10	11 ガイドウォーク
12 ガイドウォーク 植物公園季節調査会	13	14	15	16	17	18 ガイドウォーク
雨水19 ガイドウォーク	20	21	22	23 ガイドウォーク	24	25 ガイドウォーク 八丈学講座 「ザトウクジラ を探せ」
26 ガイドウォーク	27	28				

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！
2 / 12 (13:30～15:00)
中学生以上 ビジターセンター集合・解散 参加費：無料 定員：10名

八丈学講座 「ザトウクジラを探せ」

毎月行っている八丈学講座。現地にきた方にザトウクジラの解説や双眼鏡で観察してもらいます。
2 / 25 (13:30～15:00)
だれでもOK 現地集合・解散(当日決定) 参加費：なし 定員：なし

植物公園ガイドウォーク

解説員が植物公園内をご案内します。
毎週 土日及び祝日(10:30～約1時間) だれでも参加できます。
ビジターセンター集合・解散 無料 定員：10名

ビデオプログラム

10:00～ 八丈・海・生きものたち

11:00～ おじゃりやれ 八丈島

14:00～ おじゃりやれ 八丈島

15:00～ おじゃりやれ 八丈島

16:00～ 八丈・海・生きものたち

当面の間は上記のみの上映になります

東京都八丈ビジターセンター 2023.2.1 第261号

開館時間 9:00～16:45 年中無休(入場無料)
〒100-1401

東京都八丈島八丈町大賀郷2843

電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

E-mail：info@hachijo-vc.com

http://www.hachijo-vc.com

編集後記

ふん嗅の呪法は近藤富蔵が書き残した「八丈実記」にも記載されていました。遥か昔から続く島の風習だったことがわかりました。ずっと昔から伝わる八丈島のふん嗅、すたれることなくずっと残していきたいですね。(M.K.)